



TYM Fund

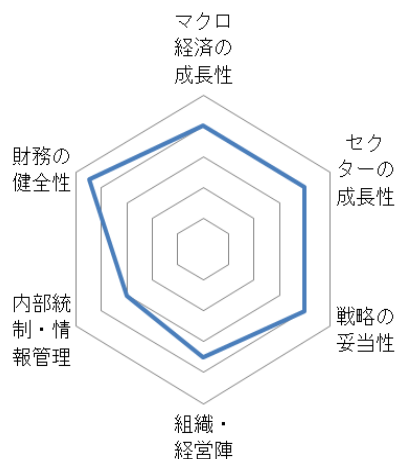
Living in Peace アナリストレポート(アップデート版)

総合評価:

A

個別評価:

マクロ経済の成長性	A
セクターの成長性	A
戦略の妥当性	A
組織・経営陣	A-
内部統制・情報管理	B
財務の健全性	A+



発行日付:

8 Sept 2013

コンタクト:

TYM 調査担当チーム

livinginpeace.mf@gmail.com

Executive Summary

TYM は、1992 年に政府の貧困削減計画を支援するために、ベトナム婦人連合によって設立された。2010 年 8 月にベトナム政府から正式にマイクロファイナンス機関 (MFI) ライセンスを取得している。

評価のサマリー

2012 年の実質 GDP 成長率は 5.0% となり、前年までと比較して伸び率の鈍化は見られるものの、概ねベトナムの経済成長の見通しは明るい。政府はマイクロファイナンス (MF) セクターの発展を後押ししており、引き続きセクター全体の安定した成長が見込まれる。

2013 年 7 月現在において、TYM を取り巻く競争環境はそれほど厳しくない。女性による女性のための MFI というユニークなポジションをとり、ベトナム婦人連合との関係を活かして顧客を獲得しているため、競合との差別化が図られている。

経営は、ベトナム婦人連合との連携の元、堅実に進められているが、経営陣の業務執行力についてはまだ成長余地があるものと考えられる。内部統制・情報管理体制の強化は進められているものの、コンプライアンスやクレジットリスク管理等、依然として課題も残っている。

センターミーティング制の運営を効果的に行なっており、オペレーションの効率性は高く、それは健全なコスト構造に反映されている。財務的下方耐性は強く、インフレ率の上昇や、突然のデフォルト率の増大に直面しても、一定の業績をあげ続けることが可能と考えられる。

Living in Peace, all rights reserved.

第 2 種金融商品取引業者の登録のない LIP は、金融商品の勧誘、募集等の行為は一切行っておりません。本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的にしており、金融商品の販売および勧誘を目的としたものではありません。本レポートは信頼に足ると判断された情報を用いて作成されていますが、Living in Peace はこのレポートの完全性、正確性を保証しません。このレポートに記載された情報は、作成日におけるものであり、事前の予告なしに変更される場合があります。このレポートのいかなる部分も一切の権利は Living in Peace に帰属しており、無断で複製または転送を行わないようにお願いします。お問い合わせは、レポート執筆者もしくは lip@securite.jp まで。

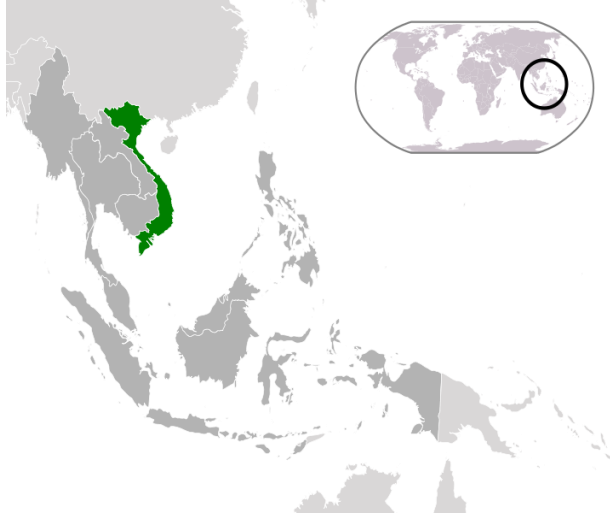
内容

内容	2
ベトナムについて	3
Vietnam at a Glance	3
歴史	3
社会状況	3
市場状況・競争環境について	4
マクロ経済状況	4
ドイモイ改革以降の経済成長	4
金融危機以降の政策	5
産業構造	5
経済成長におけるリスク要因	5
MF セクターの状況と競争環境	6
セクター概要	6
市場浸透率	7
政府の MF 政策について	7
TYM 概要	8
ミッションとビジョン	8
沿革	8
競争戦略について	8
TYM の競争状況	8
主要ターゲット・ポジショニング	8
センターミーティング制	8
提供商品	9
ビジネスプラン(事業計画)	9
組織の状況	9
組織構造	10
マネジメントチーム	10
従業員の状況	10
内部統制およびオペレーションの状況	10
全般	10
個別統制チェック	11
内部統制の今後の課題	12
情報管理の状況	12
財務の状況	13
過去の財務成績ハイライト	13
資金調達状況と計画	13
財務分析	13
Appendix 1 - ソーシャルパフォーマンス	14
Appendix 2 - TYM 財務分析結果サマリー	17
シナリオ	17
マネジメント・ケース	18
LIP ケース 1	21
LIP ケース 2	24
Appendix 3 - 東南アジア各国のマイクロファイナ ンス浸透率	27

ベトナムについて

Vietnam at a Glance

地図上の位置



国旗



基本情報

公用語	ベトナム語
首都	ハノイ
最大の都市	ホーチミン市
国家主席	チュオン・タン・サン
首相	グエン・タン・ズン
面積総計	329km ² (65 位)
人口 (2011 年)	87,840,000 人 (13 位)
人口密度	268 人/km ²

歴史

ベトナムでは封建時代が 11 世紀から 18 世紀まで続いていたが、1858 年のフランス侵攻により封建時代が終焉する。1883 年には完全にフランスの植民地となり、その支配は 1945 年まで続いた。45 年に一度独立した後もフランスとの独立戦争が 54 年まで続いた。独立後にも南部にアメリカが侵攻し、ベトナム戦争に発展する。

戦争は北ベトナムの勝利に終わり、アメリカは撤退、1976 年に南北統一が果たされた。統一後 1986 年までは配給制度が採用されていたが、制度の失敗により飢饉が訪れる。この失敗を受けて、経済改革政策であるドイモイ政策が 1986 年に導

入された。この改革の基本骨子は、市場経済の仕組みを導入し、経済成長を「神の見える手」に委ねることだった。

他国からの支援や投資も成長を後押しした。日本からの援助は 1992 年に始まり、道路をはじめとした多くのインフラ整備がなされた。1995 年にはアメリカからの経済制裁も解除された。

2000 年にはアメリカとの通商協定が締結され、同年、初の証券取引所がホーチミン市に開設されるなど、経済の発展に向けた施策が進んだ。2007 年には WTO 加盟を果たし、2008-09 年は国連安全保障理事会に非常任理事国として選出されるなど、国際社会においても各国との親密な関係構築を模索している。

社会状況

国の歴史、特に近代史に対する誇りは、国民の革新的な価値観を形成している。国家指導者であったホーチミンは 20 代後半以上のベトナム人の多くにとっては神様のような存在であり、国民団結のシンボルになっているという。今も多くの場所にホーチミンの肖像画や石像が見られる。

ベトナムでは女性の社会進出が進むものの、ベトナムにおける女性の社会進出は、アジア太平洋地域において中水準にある。初等・中等教育は、男女同程度の割合で受けているが、企業・政府機関の女性管理職は、依然として男性の 30% 前後にとどまる。マスターカードがアジア・太平洋地域の 14 カ国を対象にして行った女性の社会進出度ランキング (2013 年)¹ においては、6 位であった (尚、日本は 13 位)。

南北に長く伸びるベトナムでは、北部と南部では気候も違い土地の性質も異なるため、人々の気風も異なっているといわれている。

北部・中部は山岳地帯が多く、農耕に適した平地に乏しい。また、気候も冬は比較的寒い。こういった風土のためか、北部には現実的で勤勉な人が多いとされている。一方南部は熱帯地方であり、農耕に適した土地も多く、資源も豊富である。南部の人々にはどちらかというと楽観的な性質があるとされている。

ベトナムには 54 の民族があり、そのうちほぼ 9 割はキン族 (ベト族) が占めている。残りは少数民族である。少数民族の多くは主に山岳地帯で昔ながらの生活を続けている。言葉も生活スタイルもキン族のそれとは大きく異なっている。公用語はキン族の言葉であるベトナム語だが、少数民族は独自の言語を使っており、国民同士でも通訳が必要となるケースもある。政府は少数民族の発展と保護の政策を採用し、民族融和を図っている。

経済成長が続くベトナムにおいて、一人当たり GDP を基準にすると成長から取り残されているのが少数民族の人々である。少数民族の人々への MF サービスの提供を政府は歓迎している。

2010 年の国連の指標によると、所得格差を表すジニ係数は 35.6 と低い水準にあり² (日本は 31.4)、格差が大きいとは言え

¹ マスターカード「女性の社会進出度調査」2013

² UNDP, 2013 Human Development Report

ないが、後述の通り、貧困線以下の生活水準にある層が人口の20%を占めている。

社会主義国家であるため、言論や宗教の自由は制限されている。国境なき記者団による2013年世界報道自由ランキングによると、ベトナムの順位は179カ国中172位であった(日本は11位)³。地方への移動やMFIの視察をする際には当局の許可が必要である。

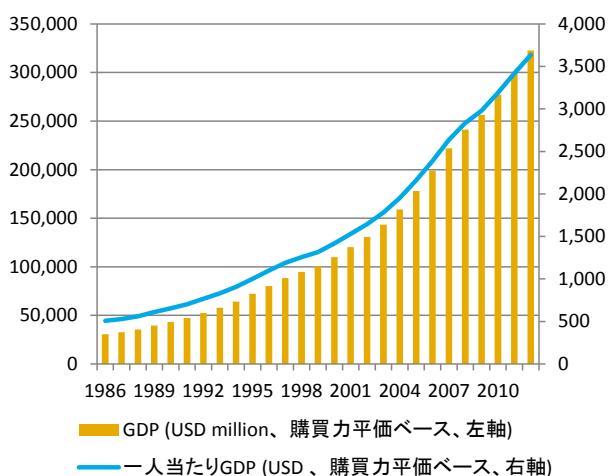
市場状況・競争環境について

マクロ経済状況

ドイモイ改革以降の経済成長

1986年のドイモイ改革以降、ベトナムの経済状況は劇的に改善した。購買力平価では1986年から2012年までの間に、GDPは年平均6.8%、一人当たりGDPは年平均7.9%のペースで成長してきた。最近では工業・サービス業の成長が著しい。2006年から2010年で年平均7.8%の成長を実現した。しかし後述の金融政策の影響等により、2012年のGDP成長率(暫定実質値)は5.0%と最近10年間で最も低い値となり、政府は経済成長持続策を推進している。

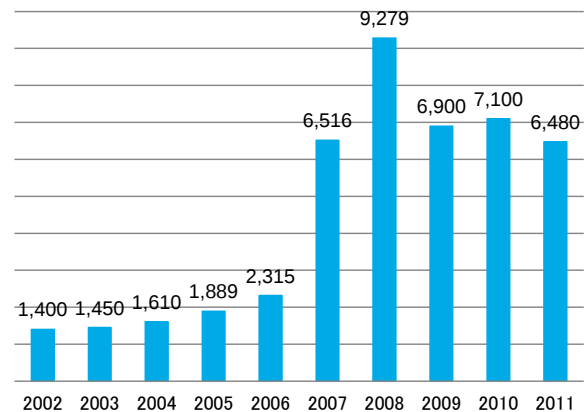
図1 ベトナムのGDP(100万ドル)と一人当たりGDP(ドル)



ソース: The World Bank, World Economic Outlook

成長を促進したのは外資の積極的な取り入れである。WTO加盟以降に海外からの投資に関する規制を緩和したことに伴い、海外直接投資は急増した。

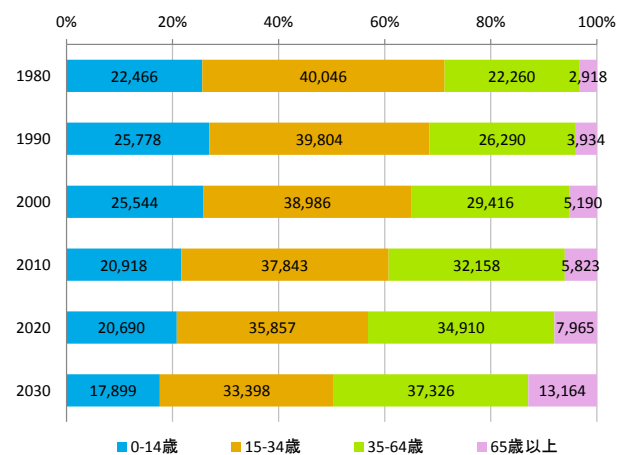
図2 海外純投資残高(100万ドル)



ソース: The World Bank, World Economic Outlook

人口構成も経済成長に影響を与えている。現在、生産年齢(15-64歳)人口が従属年齢(0-14歳, 65歳以上)人口の2倍を上回る人口ボーナス期を迎えている。この生産年齢人口によって、消費が牽引されている。国連のWorld Population Prospectsでは、ベトナムにおいて人口ボーナス期は今後10年以上続くと予測されており、生産年齢人口が今後も経済成長を牽引することが期待されている。

図3 ベトナム年代構成 時系列推移



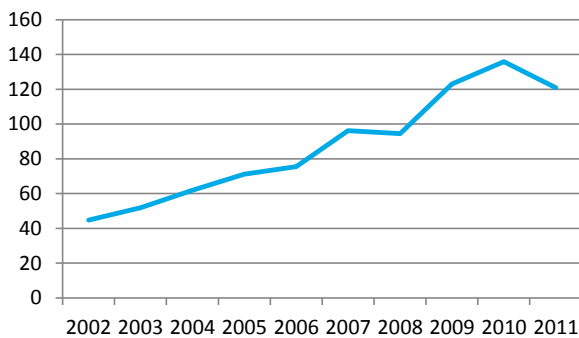
ソース: The United Nations, World Population Prospects: The 2012 Revision

(2020, 2030の推定値については、出生率予測中位の場合の値を使用)

ベトナムの銀行セクターの与信額は、上昇を続けてきた。ベトナム銀行セクターによる国内与信対GDP比をみると、2011年時点でASEAN諸国の中でタイ、マレーシアにつぐ高い水準である。

³ 国境なき記者団, 2013 World Press Freedom Index

図 4 ベトナム銀行セクターによる国内与信対 GDP 比(%)



ソース: The World Bank, World Economic Outlook

金融危機以降の政策

・金融

政府は経済成長・通貨安定・インフレ収束などという複数目標の達成を目指し、経済状況にあわせて金融政策を転換させてきた。2008 年の金融危機以降、2011 年まで金融緩和策を実行し、新指導部が始動した 2011 年には金融引き締め策が実行されてきた。この金融引き締め策は通貨安・貿易赤字・株式市場低迷の解消とインフレ収束を狙いとしたが、GDP 支出の約 7 割を占める民間消費の伸び悩みや不動産市場の低迷等を誘引し、2011 年、2012 年の実質 GDP 成長率を鈍化させることとなった。

2012 年 4 月には経済成長を優先させるため金融緩和策に転じている。既に 2013 年 7 月現在、主要政策金利の一つであるリファイナンスレートは 7%と、金融危機直後のほぼ同水準にまで下がっている⁴。

・社会経済開発

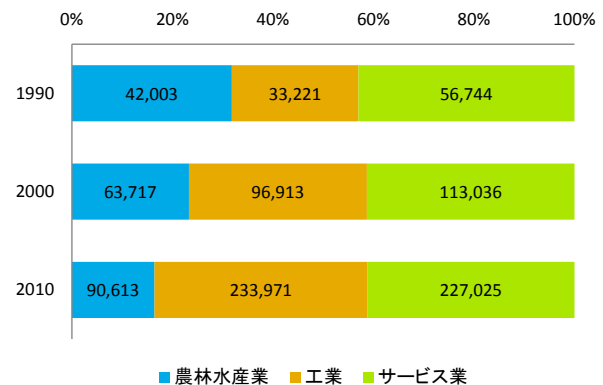
政府は社会経済開発 10 カ年計画(Socio-Economic Development Strategy 2011-2020)によって、国の最も優先順位の高い目標として以下の 4 つを掲げている。①経済の安定、②先進国レベルのインフラ整備、③熟練労働者の育成、④市場メカニズムの強化。これらを実現することで、工業化のすすんだ近代的な国へと発展しようとしている。

産業構造

現在ベトナムは産業構造の転換の過渡期であるといえる。GDP に占める農林水産業の生産高の比率は 20 年間で 15% 以上減っている。現政権は 2020 年までに工業化を果たすことを目標としている。政府は以下の政策によってこの転換を後押ししている。2012 年には機械製造、電子・通信、自動車部品組立、紡績・縫製、皮革・履物、ハイテクに関する裾野産業を奨励する裾野産業発展政策がとられている。また 2013 年には IT 産業の誘致のため、外資系企業に対して税制優遇策を設け、サービス業の育成も図っている。

⁴ ベトナム中央銀行ウェブサイト

図 5 産業構造の変化

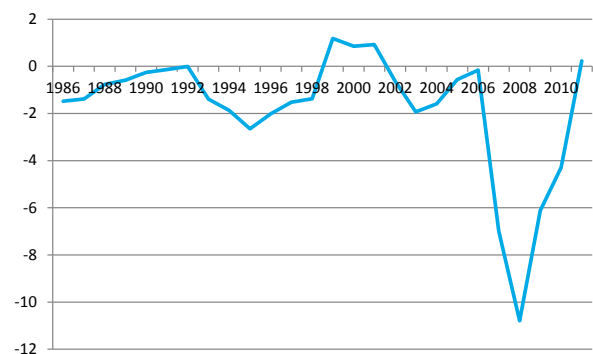


■ 農林水産業 ■ 工業 ■ サービス業

ソース: General Statistics Office of Vietnam

また、貿易赤字の改善も進捗している。従来、付加価値の低い一次産品や軽工業品の輸出額が多いが、工業製品の輸出も堅調に増加しており、貿易赤字額が徐々に改善している。特に 2010 年からの韓国のサムスンとその部品企業による携帯電話機工場の稼働が、電話機、電話機部品の輸出増に大きく寄与している⁵。

図 6 経常収支 (10 億ドル)



ソース: The World Bank, World Economic Outlook

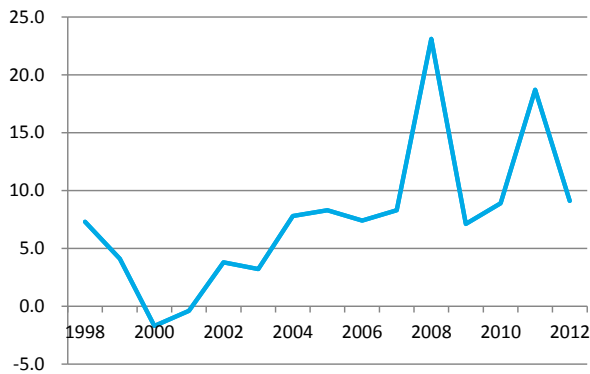
経済成長におけるリスク要因

・インフレーション

2013 年 7 月現在金融緩和傾向にあるため、インフレや不動産価格急騰のリスクは高まっている。ベトナムの物価はこの 10 年で 2.5 倍になっており、高まるインフレ率は特に低所得層の生活を逼迫する可能性がある。

⁵ ジェトロ世界貿易投資報告 2012 年版

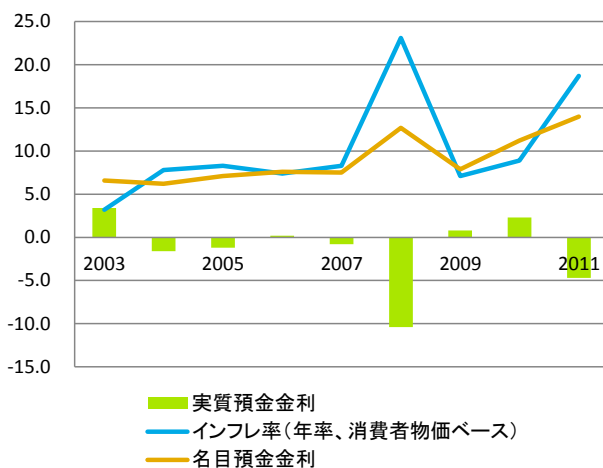
図 7 インフレ率(年率、消費者物価ベース)



ソース: The World Bank, World Economic Outlook

またインフレ率が高騰する際には、インフレ率の上昇に対して金利上昇が追いつかず、実質金利がマイナスとなることもある。貨幣価値の実質的な目減りにより預金者にとって一時的に不利な環境となり、銀行預金の増加に障害となる。

図 8 インフレ率・預金金利



ソース: The World Bank, World Economic Outlook

・ベトナムドン(VND)の下落

対ドル為替相場は、1986年のドイモイ政策開始以降、ほぼ一貫して下落を続けている。通貨の安定を図る政府の対策が求められている。

・銀行・国営企業の改革

銀行ネットワークは拡大しているが、銀行が抱える多額の不良債権はベトナム経済を圧迫しているとされる。硬直した不動産市場と非効率な国営企業への融資により、不良債権比率(貸出額に占める不良債権の割合)はアジア最大といわれている。ベトナムの会計基準による不良債権比率は2012年9月には8.8%であった⁶。政府はこの値を2015年までに3-4%に下げることが目標としている。

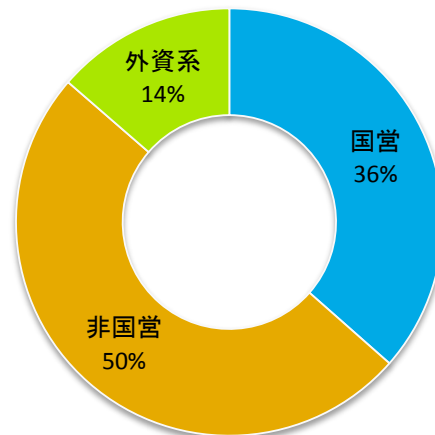
国営企業の生産高は対GDP比で3割以上あり、ベトナム経済への影響力が大きい。この国営企業の非効率な経営が経

⁶ ベトナム中央銀行

済成長の妨げとなっていると指摘されている。現政権では不採算の国営企業がベトナム経済にとって重荷であると認め、改革のため国営企業の事業集中や民営化を急いでいる。

以上の銀行改革・国営企業改革は政権の柱として位置づけられ、ベトナム経済発展の鍵となっている。

図 9 GDP 経済主体別構成割合 2010 年



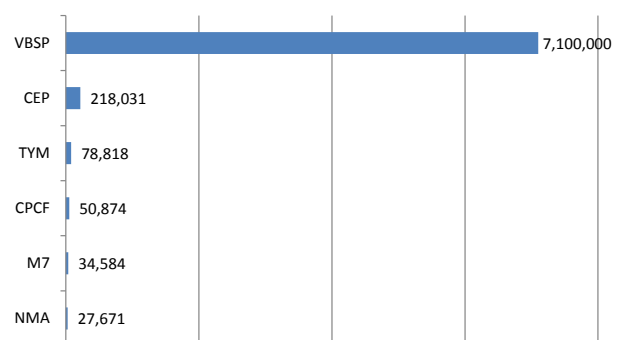
ソース: General Statistics Office of Vietnam

MF セクターの状況と競争環境

セクター概要

ベトナムのMFセクターには、政府系、半政府系、非政府系のプレイヤーが存在しているが、政府系MFIの規模が圧倒的に大きいのが特徴である。

図 10 MIX 登録 MFI の借入顧客数(単位: 人/2012 年)



ソース: MIX Market

特に、政府系のVBSP(Vietnam Bank for Social Policy)は突出して大きな機関であり、顧客数は2012年時点で710万人に及ぶ(第2位のCEPは約22万人)。VBSPは、政府のサポートを受け、顧客に対してローンや助成金を提供している。政府系MFIのローンの金利は他のMFIに比べて低い。ただし、VBSPの貸付には、貧困線以下で生活していること等、いくつかの基準があり、ローン借入時には社会奉仕活動に従事す

ること等の条件もあるため、ターゲットとする顧客層が限定されている。半政府系組織の代表格としては CEP(ホーチミン市の労働組合が母体)や TYM など、もともと公的な組織が設立母体となっている MFI がある。

MF を提供する組織のフォーマル化(金融機関としての認可登録)を進める政府施策に基づき、TYM が 2010 年に、M7 が 2012 年に MFI としてライセンスを取得した。上記 2 社以外は、自治体等で私的に組織された団体や、NGO が独自に行なっている MF プログラムなどである。

市場浸透率⁷

市場浸透率は、MF 市場の現状や今後の成長性を把握するために用いられる指標である。本レポートにおいては、ローンについての市場浸透率を以下の式によって示す。

$$\text{(式)「マイクロファイナンス浸透率」} \\ = \text{「顧客数」} / \text{「潜在顧客数」}$$

分子に相当する顧客(借り手)数については、MIX Market で入手可能なデータ(Number of Active Borrowers)を用いている。また顧客は、複数の MFI から借りているケースが存在するので、顧客数は実際の MF 利用者人口よりも過大に見積もられている可能性がある。

分母に相当する潜在顧客数については World Development Indicators のデータを用いている。潜在顧客数は、貧困線を下回る水準の労働人口(15 歳から 64 歳までの人口)としている。

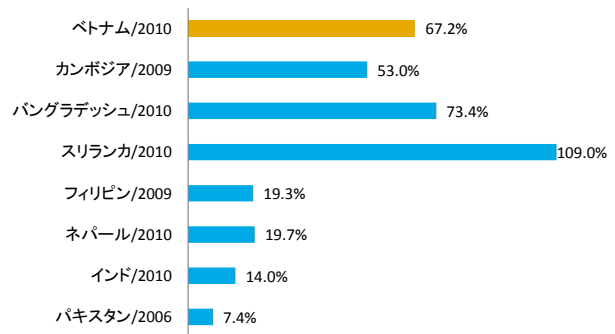
Kappel et al. (2010)⁸によると、貧困線の定義の違いによって浸透率は大きく異なる場合がある。本レポートにおいては National Poverty Line(国内貧困線)と International Poverty Line(国際貧困線)の 2 通りを示す。国際貧困線については、購買力平価が一日 2 ドル以下の層を貧困と定義するものを用いる。ここで国際貧困線を用いて求められた浸透率を LoanPenNat、国内貧困線を用いて求められた浸透率を LoanPen2 とする。

⁷ 市場浸透率については以下の論文を参考にした。

A.Krauss, L. Lontzek, J. Meyer, M. Frommelt (2012), "Lack of access or crowded markets? Towards a better understanding of microfinance market penetration", Zurich: Center for Microfinance

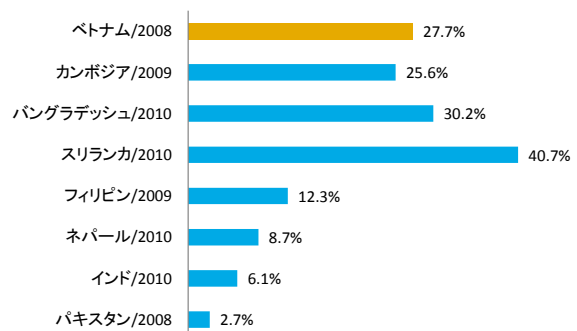
⁸ Kappel, Vivien, A. Krauss, L. Lontzek (2010), "Over-Indebtedness and Microfinance –Constructing an Early Warning Index", Zurich: Center for Microfinance

図 11 アジアの MF 浸透率 LoanPenNat



ソース: The World Bank, World Development Indicators
MIX Market

図 12 アジアの MF 浸透率 LoanPen2



ソース: The World Bank, World Development Indicators
MIX Market

ベトナムの MF(ローン)の浸透率について、2010 年の LoanPenNat をみると 67.2%である。浸透率の高さの要因として、政府系機関である VSBP の規模の大きさを挙げることができる。しかし政府系の MFI の場合、国によって MIX Market にレポートしている国としていない国がある。そのためベトナムの MF 浸透率が、他国と比べて高いとは一概に言えない⁹。

またベトナムは都市と農村で貧富の差が大きく、国際貧困線(購買力平価、一日 2 ドル以下)を下回る人口の比率をみると、都市部で 6.0%、農村部で 27.0%、国全体で 20.7%である。そのため貧困人口の多い農村部で、MF 市場の成長が今後も見込まれる。

政府の MF 政策について

MFI は中央銀行の管理下にあり、ライセンスの付与も同行が行っている。

政府も 2020 年までの計画で MF セクターの成長を促す方針であり、同セクターは今後も成長が期待される。法律の整備は、主要 MFI と協力の上行われている。なお、上限金利規制も中央銀行により定められている。

⁹ Appendix3 参照

TYM 概要

TYM はベトナム婦人連合が母体となっている MFI である。この名称は I love you を意味するベトナム語である“Tao Yeu Mai”の頭文字からとったものである。

ミッションとビジョン

ミッションは「貧困・低所得の女性にローンと貯蓄サービスを提供し、彼女らが経済活動に参加するに好ましい条件をつくり、社会における役割を強めることで、女性の生活と地位を向上させること」である。

ビジョンは「低所得の女性とその家族に対する一流の金融サービスの供給者になること」であり、社会的責任と従業員の専門家としての卓越を融合させ、ベトナムにおいて最も成功している MFI となることを目指す。

沿革

TYM は、1992 年に政府の貧困削減計画を支援するために、ベトナム婦人連合によって設立された。当初はベトナム婦人連合によるプロジェクトのひとつだったが、1998 年には部署のひとつとなり、2006 年には独立した法人格を取得するに至った。2009 年 7 月に MFI のライセンスを申請し、2010 年 8 月に認可された。

TYM が資金的、技術的支援を受けている団体には、ACT, CARD, Finanzgruppe, CORDAID, Oikocredit, Rabobank などがある。

2013 年 6 月時点の顧客数は 8 万 5 千人以上であり、ベトナム北部を中心に 10 の地方でサービスを展開している。

競争戦略について

TYM の競争状況

現状、TYM の競合となっている MFI は存在しないと考えられる。

- 政府系プレーヤーとの競争
VBSP などのサービスを受けることによる制約を好まない顧客をターゲットにしており、棲み分けがなされている。
- 半政府系プレーヤーとの競争
同じ半政府系の CEP とも、営業エリアが異なっており、現状競合となり得ない。(TYM は北部、CEP は南部)
- 非政府系プレーヤーとの競争
非政府系組織の提供する MF サービスとの競争も激しくない。その理由は次の二点である：
 - ・ TYM は MFI としてのライセンスを保有しているため、顧客の自発的預金を受けることができるほか、外国からの借入も一定の条件の下で可能であるなど、資金調達に強みがある

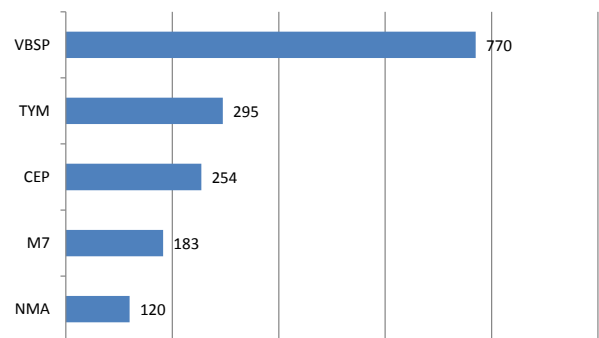
- ・ マーケットが成長している環境下で、そもそもの規模が異なるため、非政府系プレーヤーとの間には競争が存在しないと言える (TYM の次に MFI ライセンスを取得している M7 もまだ規模の面で TYM とは競合しない)

主要ターゲット・ポジショニング

TYM は女性による女性のための MFI である。

婦人連合が母体であることもあり、経営陣である General Director と Deputy General Director は女性で占められている。従業員全体における女性比率は 60% 以上になる。また、TYM の顧客の女性比率は 100% である。

図 13 一人当たりローン残高 (USドル、2012 年)



ソース: MIX Market

政府系 MFI である VBSP の一人当たりローン額が突出して高く、それ以外の MFI の中では TYM の平均ローン残高が相対的に高くなっている。

センターミーティング制

TYM はセンターミーティング制を採用している。40 人から 50 人の顧客で一つのセンターを形成し、月に一度の頻度でセンターミーティングが行われる。また、週に一度、このセンターでローンの返済や貯金、保険の積立が行われる。

借入手続きの簡素さと同程度に、ミーティングの仕組みが TYM の競争優位の源泉になっている。



センターミーティングの様子



センターミーティングでの積立およびローンの返済

TYM のローン返済率が高い理由は、一つはコミュニティの結束、もう一つはセンターにおける週次での少額の返済にあるという。TYM のコミュニティの結束は固く、返済ができない顧客の借入を自発的に仲間が支払うこともある。

さらに、センターでは、TYM のサービス提供の手続きや方針の学習、ビジネススキルや金融知識、ジェンダーの研修等も行っている。

このようにうまく機能する場合、センターミーティング制は非常に効率的な仕組みである。本来であれば MFI のローン担当者（ローンオフィサー、TYM では Technical Officer と呼ばれる）がすべき業務を、センターのメンバーとも分担できるため、オペレーションにかかるコストを下げることになる。結果、TYM のローンオフィサー一人あたりの顧客数は、平均して 2010 年は 345 人、2011 年は 323 人、2012 年は 330 人と、世界的にも高い¹⁰。

TYM から借入を行うことを選んだ理由を顧客にインタビューすると、参加理由としてセンターミーティングを挙げる顧客が多い。

TYM のセンターミーティング制を機能させているのは、第一にベトナム社会に存在するソーシャル・キャピタル（人々の相互信頼から生じる価値）の大きさ、第二に顧客となる女性のニーズを踏まえたミーティングの設計だと考えられる。第二点については、TYM だからこそ提供できる付加価値であると考ええる。

提供商品

TYM はローン、預金、保険サービスを提供している。商品の種類は増えてきているが、商品設計は非常にシンプルである。具体的な金額は、借り手の収支に合わせて決定される。

ローン

金額	VND100～2500 万（約 0.5～12.5 万円）
金利	年利 6～12.5%（固定金利）
期間	25～100 週間
種類	政策・消費・ビジネス・住宅ローン等

貯蓄

金額	VND5000～500,000（約 25～2500 円）
金利	年利 2.0%～8.5%
形態	毎週積立、月次積立
種類	強制積立、自発的貯金

保険

保険料	VND1000（約 5 円）、毎週支払い
保険金	ローン残高、VND100～300 万（約 0.5～1.5 万円）
種類	生命・入院・ローン保険、年金積立

ビジネスプラン（事業計画）

TYM におけるビジネスプランの策定方法は 2010 年のヒヤリング以降変更はない。ビジネスプランは年に一度策定される。その最終版の確定までには 6 回のミーティングを経ることになっている。それぞれのミーティングのテーマは下記の通りに設定されている。

- 第一回：市場の状況
- 第二回：顧客の状況
- 第三回：スタッフの状況
- 第四回：資金の状況
- 第五回：戦略策定と具体的な手続き
- 第六回：最終版の策定

ビジネスプランは最終的には取締役会で承認される。

最新の「ビジネスプラン 2011」（その内容は Appendix2 を参照）の達成における懸念点は下記の 2 つがある：

- ・ MFI ライセンス取得後、当局の規制により、新規出店等の規模の拡大速度が計画を下回る可能性がある
- ・ ビジネスプランの達成のためには、資金調達が不可欠であるが、資金調達が計画通りいかなかった場合、貸出残高等の規模の拡大は計画を下回る可能性がある

組織の状況

2013 年 6 月現在、TYM はベトナム中北部にある 10 の省に 53 支店を展開している。従業員数は 371 人であり、そのうちローンオフィサーの数は 246 人である。

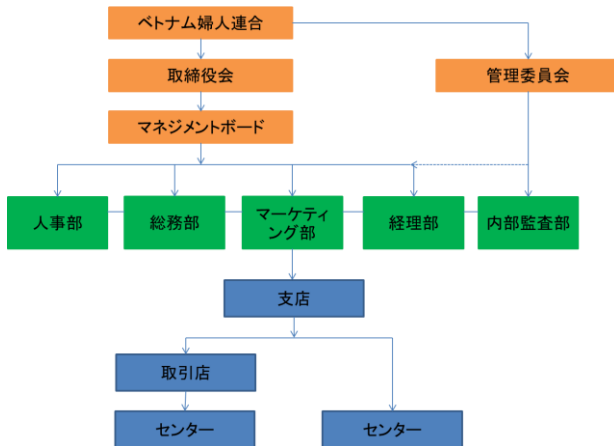
本社はハノイにあり、29 人の常駐社員と 5 人の内部監査人がいる。全ての支店は本社とインターネットでつながっており、支店の情報は本店で一元管理されている。

TYM は 2010 年 8 月に MFI のライセンスを取得した。これにより、顧客の自発的預金を集めることが可能になるとともに、海外の投資家からの資金調達を行うことが容易になった。ただし、規制により外国人投資家による過半数以上の株式取得は不可能であり、さらに、ライセンス保有 MFI はその株式の 25% 以上が国内の政府系組織によって保有されていなければならない。

¹⁰ MIX Market

組織構造

組織図は 2013 年 3 月現在、次の通りとなっている。



取締役会はベトナム婦人連合の幹部 3 名および TYM のマネジメントボード 2 名で構成されている。マネジメントボードは、General Director 1 名と、Deputy General Director 1 名で構成されている。

マネジメントボードの直下には 5 つの部署があり、それらが各支店長とやりとりをする。支店長は支店が管轄する取引店及びセンターを担当する。

管理委員会は、ベトナム婦人連合の財務副部長、TYM の内部監査部長、そして TYM の人事部長で構成されている。

マネジメントチーム

マネジメントボードを構成する 2 人のオフィサーの経歴は次のとおりである。尚、現状、マネジメントボードは 2 名の女性より成り立っているが、2013 年内に、もう 1 名マネジメントボードに選出される予定である。:

Thi Ngoc Linh, General Director

ベトナムの Hanoi Banking University と Hanoi University of Foreign Languages Teachers にて学士号を取得。National University にて MBA を取得。

1994 年から現在まで 16 年間 TYM に勤務。ローンオフィサー、内部監査部マネージャー、オペレーション・トレーニング部マネージャー、Deputy Director を経て、2012 年より現職。

Pham Thi Thuy Linh, Deputy General Director

National Economics University と Hanoi University for Foreign Studies にて学士号を、フィリピン人の SAIDI にてマイクロファイナンス修士号を取得。1998 年からユニセフに勤務した後に、2000 年に TYM に参画。2006 年に総務部長に就任し、2010 年より現職。

従業員の状況

TYM の従業員の平均年齢は 28 歳、女性比率は 65%である。平均勤続年数は 5 年と他の MFI と比べると長くなっているという。

様々な従業員にその勤続年数の長さの理由を聞いたところ、多くの場合において共通していたのが社会貢献志向、働きやすさ、トレーニングプログラムの充実であった。

利益の確保を行いながら山間部の少数民族にもマイクロファイナンスサービスの提供を行うことや、借手の 20%を母子家庭が占めていることなどに社会貢献志向が反映されている。それが従業員のモチベーションになっていることが少なくないという。

ベトナム婦人連合が母体であることもあり、TYM は女性にとって働きやすい職場である。女性であっても管理職になれる可能性があることや、産休制度の充実など、ベトナムの男性中心企業には欠如しがちな制度が整っている。

TYM では新入社員に対してトレーニング期間を設けて、その間に右記のことを行っている: ①今後の仕事内容の全体像を知るための研修、②業務に必要な知識についての勉強、③実習、④検定試験(これをパスしないと業務を開始することはできない)

一つの支店に配属された後にも、他の支店に異動して一ヶ月ほど勤務して、その後本店でも全体トレーニングを行う。それぞれの人の担当分野に併せてトレーニングコースと手順が決まっている。支店長レベルのトレーニングも行われている。その後も年に一度のペースで社員研修を行ない、審査の方法や、顧客を対象にした金融・ビジネス・ジェンダーその他教育の方法論についてトレーニングを積んでいる。

また、センターミーティングを実施するためにローンオフィサーに提供されるトレーニングプログラムは非常に充実したものとなっており、個々人の能力向上の観点からも TYM は非常に魅力的な職場となっている。

内部統制およびオペレーションの状況

2013 年 7 月の現地調査により本店、及び Kim Dong 支店にて、内部統制および通常オペレーションの状況をヒヤリングした。その結果をここに記述する。

全般

業務上必要な統制(入出金の手続きや、審査手続きなど)は全て文書化されている。基本的に 2010 年の現地調査時より業務フローに大きな変更はない¹¹。

従業員および管理職は統制活動の重要性、ポジションにおける役割を認識している。MF 業務に関する様々なトレーニングプログラムの提供も、マニュアル通りのオペレーションを担保するためのものである。

本年の現地調査により、例外を設けないことの重要性を認識していることを確認した。文書規定のある全ての手続は例外

¹¹ 現在セクション毎に作成されているマニュアルを調整・統合する作業が行われており、2013 年後半には完成予定である

なく実施されている。事情があっても、手続きが遅延することはない。

必要明細と関連証憑は常に閲覧可能な状態で保管されていることを確認した。

日々の運用状況をモニタリングするための業務管理・内部監査が適宜実施されていることを確認した。本店員には月に1度、定期的な支店訪問が義務付けられている。また、各支店は年に1度、必ず支店監査を受けることになっている。

個別統制チェック

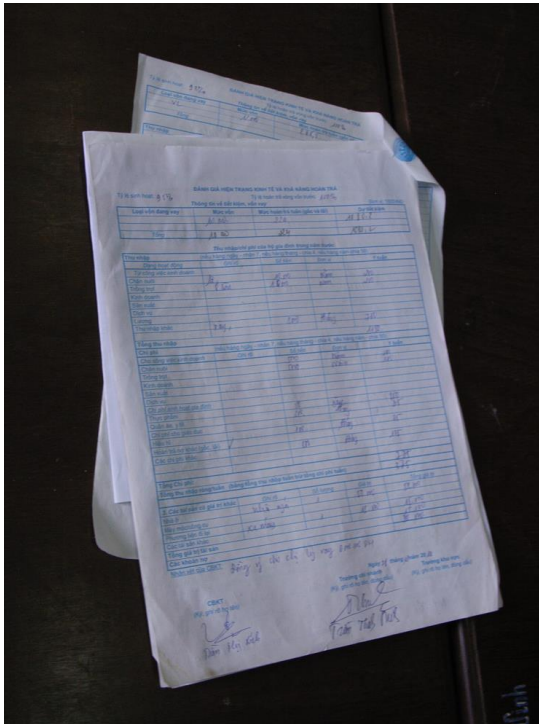
マニュアル通りに統制が実施されているか確認した。

貸出における事前顧客評価を確認した。出店は地区、地域の委員会の許可を得て行うが、その後は婦人連合と相談の上、婦人連合を通してサービスの内容を宣伝してもらう。

宣伝を受けてサービスに興味をもった人がいたら、担当者が現地訪問をしてそれぞれの家庭に必要な項目をチェックする。支店長がまとめた結果を確認して、審査した後にサービスの提供が決定される。婦人連合の会合は一ヶ月もしくは四半期に一度開催されている。この婦人連合での照会が顧客の信用を担保している。

顧客評価表を埋めるため、及び信用を担保するため、顧客への様々なヒヤリングを実施し、その正しさを複数の人物からの聞き込みにより検証している。複数の人物の情報確認において最も役立っているのがセンターミーティングである。

2010年現地調査の際に、顧客評価表を用い、顧客の支払能力を適切に算定し、能力内での貸出を実施していることを確認した。



顧客評価表(写真は2010年現地調査にて撮影)

本年現地調査で貸出実施につき立会を行った。貸出はセキュリティの観点から、支店にて行われる。貸付証書に顧客、支店長、場合によって地区担当者のサインがあることを確認した。

TYMでは、貸出時には顧客のIDカードを用いて本人確認を行う。写真付きの顧客カードも作成し、来訪者の顔を照合している。

なお、貸出に際しては、親族からの連帯保証が必要となる。



貸出の様子

本年の現地調査で回収についても立会を行った。回収はセンターミーティングを通じて行われる。センター責任者と副責任者で相互チェックを行った後に、ローンオフィサーがその金額に誤りがないことをチェックする仕組みになっている。それが実際に行われていることを確認した。

また、回収金額と現金照合票との一致を適時に確認しており、回収証書に顧客、支店長、場合によって地区担当者がサインをしている。

本年現地調査では、現金取扱については質問により確認を行った。

現金照合票と各領収書、各領収書と貸出明細(受け/払い)との一致を常に確認している。また、顧客と支店で借入金と預金残高の帳簿をそれぞれ一冊ずつ用意しており、現金取扱にて不整合が生じないようにしている。

祝日などで銀行との取引がない場合は支店内に現金を残すが、それ以外の場合には毎日銀行との入出金があり、支店には基本的に現金を残さない。銀行と入出金をする際には、必ず銀行口座と支店で用意されているキャッシュブック(同じものが二冊)が一致するようになっている。

現金勘定の立会いが、適切に実施されていることを質問により確認した。

現金カウント表(写真は 2010 年現地調査にて撮影)

国産の MIS を利用しているのは、主に次のような事情による。

- 国際的によく用いられている MIS は、ベトナム固有の事情をクリアしていない場合が多い
- 言語の問題があり、ベトナム語ベースで作成した方が容易に使用できる
- 独自のシステムであれば拡張性や柔軟性が高い

2007 年導入以降、微修正を加えながら、現在まで利用を続けている。MIS の有効活用により、ローンオフィサー 1 人あたりの顧客数を 500 人まで引き上げることを計画している。また、MIS による一括した情報管理は、不正を防止する観点からも、役に立っている。

内部統制の今後の課題

2010 年に現地調査を行った際に、内部統制における課題として下記の 3 点を認識していた。

● 資金管理のプロセスの改善:

資金の受け渡しから銀行口座までの移動において、ミスを無くす手続きの策定とその徹底を行う必要がある。設立からの 18 年の間に、重大な規模のミスではないが、小さな規模のものが 30 件ほど発生していた。その多くは熟練していない社員によるものであるが、ミスを無くすための仕組みづくりが必要とされていた。

● コンプライアンスの徹底:

MFI のライセンス取得後、コンプライアンスの基準がかなり厳しくなった。特に出店手続きや、顧客保護などの観点からの法令遵守がより高い水準でもとめられているため、全支店での遵法意識を高めるとともに、新しいコンプライアンスガイドラインの策定が必要とされていた。

● クレジットリスク管理:

TYM の外部資金調達には策定から実施までかなりのタイムラグがある。また、顧客の預金の流動性も高い。Prudential Ratio (リスクウェイトされた負債残高とキャッシュの比率) を安定させるためには、クレジットリスク管理の仕組みをより精緻化させる必要があるとされていた。

2013 年 7 月現在、セクション毎に作成されているマニュアルを統合し、より強力なものへと調整する作業が行われている。ミスや法令遵守違反が発見された場合、支店の成績の査定結果に影響を与える仕組みとなっている。また、内部監査部から適時に勧告が行われる。これらは、各支店がミスや法令遵守違反の発生を防ぐ努力を行うインセンティブとなっている。クレジットリスク管理については、引き続き仕組みの精緻化が求められている。

情報管理の状況

TYM は、TMS (TYM Management System) という独自の MIS (Microfinance Information System) を用いている。このシステムはベトナム国内の IT 企業によって開発されている。

財務の状況

過去の財務成績ハイライト

KPI

TYM の過去の財務成績は良好である。為替レートは大きな変動に見舞われているが、外部からの資金調達も全て VND で行われているため、為替レートの変動が TYM のパフォーマンスに影響する程度は小さい。

ローンオフィサーあたりの顧客数は、国際的に比較すると非常に高い水準にある。TYM が提供するサービスの金利が月利 1%にもかかわらず、損益計算書と貸借対照表から計算された実効金利が 20%強である理由は、TYM の貸し出しにおける金利は、途中返済を行った場合においても貸し出し当時のローン金額から計算されるためである。返済率も 99.9%を維持している。

KPI	2010	2011	2012
FX rate :VND / USD	18,932	20,828	20,828
FX rate :VND / JPY	240	271	242
支店数	46	56	63
成長率		22%	13%
ローンオフィサー数／支店	3.5	4.1	3.8
ローンオフィサー数	160	227	241
スタッフ総数／ローンオフィサー数	1.64	1.49	1.50
スタッフ数	263	339	362
スタッフ一人当たりコスト		373	562
顧客数	55,146	73,246	79,484
顧客数／ローンオフィサー数	345	323	330
ローン残高(百万円)	1,174	1,548	1,999
平均ローン金額	21	21	25
実効金利		22.9%	26.7%
預金(百万円)	296	454	926
預金／ローン残高	0.25	0.29	0.46
実効金利		2.6%	2.1%
MFIの銀行預金残高(百万円)	103	75	412
残高／総現金	1.00	0.98	0.98
実効金利		3.7%	10.6%
外部借入(百万円)	520,724	652,079	663,499
ミニマムキャッシュ			
実効金利		8.5%	9.7%
返済率(%)	99.9%	99.9%	99.9%
強制積立控除*	19.0%	44.2%	31.3%

ベトナム政府による MF 支援政策により、2012 年 1 月から 2 年間の免税措置が適用されることとなった。また、2012 年、ベトナム政府から VND500 億(約 2 億円)の出資を受けた。

金融機関のコストのほとんどは人件費によるものであるが、先述のセンターミーティング制により、TYM の人件費率は低く、下方耐性強い財務体質となっている。

損益計算書	2010	2011	2012
金利収入	234,963	296,974	497,624
人件費	75,259	112,398	196,901
総務費用	35,669	66,687	86,524
預金(顧客)金利	7,248	9,310	15,316
その他営業費用	8,695	3,759	28,523
営業費用	126,870	192,154	327,263
営業利益	108,093	104,821	170,361
マージン率	46.0%	35.3%	34.2%
金利収入(銀行預金)	2,167	3,348	8,885
その他収入	3,305	4,503	26,166
営業外収入	5,472	7,851	35,052
金利(外部借入)	32,490	47,088	67,743
その他費用	5,982	2,509	985
貸倒引当金繰入額	3,135	-486	1,519
営業外費用	41,607	49,111	70,247
ベトナム会計基準上の純利益	71,959	63,561	135,166
マージン率	31%	21%	27%
強制積立控除*	13,654	28,099	42,281
国際会計基準上の純利益	58,305	35,462	92,885
マージン率	25%	12%	19%
税金	1,502	15,890	0
純利益	56,803	19,572	92,885
マージン率	24%	7%	19%

(単位: VND(百万))

資金調達状況と計画

ビジネスプラン達成のためには 2015 年までに VND1,880 億(約 9 億円)の外部からの資金調達が必要である。現状、4 社程度の外部レンダーから、合計 VND900 億(約 4 億円)の資金調達を行う予定である。資金調達通貨は、VND 以外を受け入れない方針である。今後は、個人からの資金調達も行っていく予定である。また、外部借入のみならず、ベトナム国内での預金受け入れにも注力し、預貸比率 40%を維持していく方針である。

財務分析

TYM のビジネスプランに応じて作成したマネジメント・ケースと、KPI にストレスをかけた LIP ケースを二種類、計三つのケースを作成し、それぞれについて財務諸表を作成した。

また、この MFI の利益を左右するのはローンオフィサー対顧客数、回収率、インフレ率であるため、この変数に変化に応じた 3 年間純利益の感応度分析も行った。分析結果は Appendix2 に掲載した。

Appendix 1 – ソーシャルパフォーマンス

はじめに

本節では、TYM のソーシャルパフォーマンス¹²に関する取り組みをまとめる。TYM はソーシャルパフォーマンスに関するレポートを継続して刊行¹³しており、自分たちの金融サービスが本当に顧客の貧困削減に役だっているのか関心を持っている組織と思われる。

本節では、現地での TYM のインタビューに基づき、最近 TYM に導入された Progress out of Poverty Index (貧困脱却指数、以下 PPI) についてまとめる。貧困とは抽象的な概念であり、時代や地域や文脈などによって相対的に定まるもので、普遍的な定義があるわけではない。PPI によって、MF セクターにおける貧困の統一見解が得られる。これを貧困の程度を計測する物差しとして、MFI のサービスがどのような貧困層を対象としているのか、貧困削減に貢献できているのかモニタリングできるようになる。

PPI とは何か？

PPI は、Microfinance Risk Management L.C.C. の Mark Schreiner によって開発され、グラミン財団によって運用されている。10 個の簡単な質問に基づき、顧客の貧困の程度を数値化するものである。質問は個人属性と耐久消費財(財産)に大別され、各質問の回答によって評点が付与される。この評点が高い(低い)ほど貧困削減が進んでいる(遅れている)とみなす。

PPI の特徴は 4 つ挙げられる。

- ・貧困という抽象的な概念を数値化することで、貧困の程度を具体的にイメージしやすくなる
- ・国によって質問や評点が調整されている¹⁴
- ・家族人数や耐久消費財の保有状況に関する質問は、質問者と回答者によらず正確な回答が得られやすい
- ・他の統計データと整合性がある¹⁵

発展途上国では、道路や IT システムも発展途上であるため、データを収集することは必ずしも容易ではない。PPI と類似した指標として、LIP が調べた限り、United Nation's Human Development Index(HDI)や Multidimensional Poverty Assessment Tool(MPAT)や Success Measures Data

System(SMDS)や Acumen Fund BACO Ratio⁴ が存在する。質問の量や MFI での利用事例などを勘案するに、個人の貧困の程度を把握するツールとしては、PPI のアンケートが最も優れていると思われる。

ただし、PPI を使っても、『マイクロファイナンスによって貧困削減が達成された』といった因果関係は必ずしも言えないことに注意すべきである。融資の前後で PPI を比較すると、その差分にはマイクロファイナンスによる貧困削減効果だけでなく、海外情勢、国内の景気、顧客の住む村の状況、本人の努力などが含まれるためである。LIP が知る限り、貧困削減効果を計測するには、現在 RCT(ランダム化比較実験)がデファクトスタンダードである¹⁶。

ベトナムにおける PPI

Mark Schreiner 氏のサイトから、ベトナムの PPI が入手可能¹⁷である。全 10 の質問と評点は、次のようになる。質問を大別すると、個人属性に関する質問が Q1 と Q2、それ以降は耐久消費財(財産)に関する質問になる。評点が高い(低い)ほど貧困削減が進んでいる(遅れている)と解釈できる。

¹² ソーシャルパフォーマンスという言葉は比較的新しく、日本においてまだ十分なコンセンサスが確立されていない。Social Performance Task Team のサイトによれば、『組織のミッションを実践し、社会に価値をもたらすこと』という見方もある。ここでは、本業を通じてより良い社会を実現する効果というニュアンスとする。

¹³ <http://tymfund.org.vn/Documents> から 2007、2010、2011 がダウンロード可能である。

¹⁴ 評点の重み付けは Mark 氏の経験に基づくと推測される。

¹⁵ National Poverty Line(貧困線)、National Food Poverty Line(カロリーベースの食糧貧困線)、USID "Extreme" Poverty Line(アメリカ合衆国国際開発庁)に換算可能とされている。PPI の評点に基づき、顧客が貧困線を下回っているかどうかを推定できる。

¹⁶ マイクロファイナンスの貧困削減効果を学術的に調査した書籍として、『貧乏人の経済学』や『善意で貧困はなくせるのか?』などが挙げられる。

¹⁷ <http://bit.ly/16DiZIR>

#	質問内容	回答	評点
Q1	14 歳以下の家族人数は？	3 人以上	0
		2 人	7
		1 人	16
		0 人	23
Q2	過去 12 ヶ月において、自営業、農業、林業、水産養殖業に従事していた家族人数は？	4 人以上	0
		2～3 人	6
		0～1 人	9
Q3	住居の主な素材は？	間に合わせの素材	0
		半永久的な素材	1
		共用のキッチンやバスルームやトイレのある家	2
		戸建て庭付き、個別のキッチンやバスルームやトイレのある家	6
Q4	家にどのようなトイレが備わっているか？	トイレはない	0
		ぼっとん便所	2
		Suilabh 式トイレ ¹⁸ 、浄化槽や下水のある水洗トイレ	7
Q5	飲料水や調理に使う水は？	公共の水道、井戸、手掘りの井戸、閉鎖井戸、泉、湧き水、小さな貯水タンク、雨水、川、湖、池	0
		個人所有の井戸水、ボトル詰めされた水	4
Q6	保有している調理器具は？	所有していない	0
		電気調理器具、炊飯器、圧力釜	5
		ガスオーブン	16
Q7	バイクを所有しているか？	いいえ	0
		はい	10
Q8	ビデオプレーヤーを所有しているか？	いいえ	0
		はい	4
Q9	ダンスを所有しているか？	いいえ	0
		はい	10
Q10	冷蔵庫もしくは冷凍庫を所有しているか？	いいえ	0
		はい	11

この評点の合計値を次の表で照らし合わせ、回答者が貧困線より下である確率を推定することができる。例として、もし評点の合計値が 14 点であれば、貧困線より下である確率は 74.5%、もし 85 点であれば 0%と推定できる。

図 14 貧困線より下である確率を推定
(National poverty line): Estimated poverty likelihoods associated with scores

If a household's score is . . .	. . . then the likelihood (%) of being below the poverty line is:
0-4	93.0
5-9	90.0
10-14	74.5
15-19	70.9
20-24	55.4
25-29	35.2
30-34	33.0
35-39	20.8
40-44	10.8
45-49	4.9
50-54	3.3
55-59	1.2
60-64	1.2
65-69	0.5
70-74	0.5
75-79	0.0
80-84	0.0
85-89	0.0
90-94	0.0
95-100	0.0

TYM における PPI の管理

マーケティング部のヘッドである Kien 氏に、MIS を操作しながら PPI を説明してもらった。この MIS はベトナムのシステム開発会社に外注し、日本の金融機関のシステムと似た機能がある。

この MIS では、顧客の申込情報、返済履歴、PPI が同時に扱えるようであった。現在も MIS の開発が続いており、最近になって PPI も統合して扱えるようになり、地域別の収入階級分布など帳票出力機能も追加されたとのことである。今後は集計結果やデータの一部などをエクセルにエクスポートする機能が追加される予定である。

図 15 ある顧客の PPI を示している

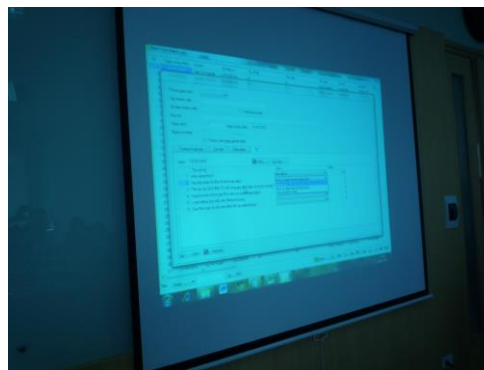


図 16 全顧客の申込情報を示している



¹⁸ <http://bit.ly/13aMEFO>

申込情報のテーブルレイアウトの一部は次のようであった。

(※ 架空の値が入力されている)

会員登録日	氏名	顧客番号	支店番号	村名	住所	生年月日	職業
2013/1/1	ベトナム花子	100	20	TYM 村	TYM 村 1-2-3	1975/1/1	農業
2012/1/1	ベトナム茜	101	...				

未婚既婚	保証人名	保証人生年月日	担当者名	勤労世代の数	家族人数	家の状態	家畜の評価
...							
...							

今後の課題

TYM は PPI を活用して貧困削減の実績をアピールし、外部の投資家から資金調達をしたいという意欲を持っており、PPI のデータを蓄積し始めた。今後の課題として、次の2つを認識していた。

- ・同一人物の過去の PPI を追跡調査できず、時間を通じた貧困削減の程度を把握できない
- ・帳票に出力する機能がほとんどなく、投資家向けに PPI レポートを提出できない

LIP が現地調査を行った他の MFI では、まだ PPI は導入されていない。TYM が 8 万人以上の顧客の PPI を蓄積していることは、評価すべきことである。今後外部のコンサルタント等を活用して、ソーシャルパフォーマンスに関心の高い投資家に対して、より良いソーシャルインパクトの説明責任を果たすことができることを期待される。

おわりに

昨今の日本のビジネスシーンで、ビッグデータやデータサイエンティストという言葉が流行っており、データに基づいた意思決定はもはや珍しくはなくなっている。フィリピンの CARD MRI では、PPI を審査に使用し、もはや貧しくない顧客には融資を断ることがあるという。TYM も PPI を活用することで、より優れたソーシャルインパクトを残せると期待できるだろう。

Appendix1 参考文献

- <http://www.microfinance.com/>
- http://www.living-in-peace.org/_common/img/pdf/LIP_Report_No7.pdf
- <http://www.progressoutofpoverty.org/>
- <http://tymfund.org.vn/Documents>
- http://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=2250500
- <http://sptf.info/>

Appendix 2 – TYM 財務分析結果サマリー

シナリオ

	Case 1	Case 2	Case 3
	Manegement Case	LIP Case 1	LIP Case 2
回収率	99.9%	98.0%	95.0%
支店成長率	16%	10%	5%
支店当たりローンオフィサー数	4.10	4.00	3.50
総従業員数／ローンオフィサー数	1.47	1.85	2.00
顧客数／ローンオフィサー数	413	330	300
Average Loan Amount			
2013	620,402	550,000	450,000
2014	806,652	600,000	450,000
2015	1,054,506	650,000	450,000
2016	1,406,007	700,000	450,000
2017	1,832,531	800,000	450,000
預金／ローン残高	0.44	0.40	0.40

マネジメント・ケース

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
KPI									
FX rate : VND / USD	18,932	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	0.0%
FX rate : VND / JPY	240	271	242	242	242	242	242	242	0.0%
支店数	46	56	63	73	83	93	103	113	12.4%
成長率		22%	13%	16%	14%	12%	11%	10%	
ローンオフィサー数/支店	3.5	4.1	3.8	4.1	4.3	4.5	4.5	4.5	
ローンオフィサー数	160	227	241	299	357	419	464	509	16.1%
スタッフ総数/ローンオフィサー数	1.64	1.49	1.50	1.47	1.46	1.44	1.44	1.44	
スタッフ数	263	339	362	441	519	602	667	732	15.1%
スタッフ一人当たりコスト		373	562	513	577	639	631	707	
顧客数	55,146	73,246	79,484	96,938	113,613	134,332	154,767	177,602	17.4%
顧客数/ローンオフィサー数	345	323	330	324	318	321	334	349	
ローン残高(百万円)	1,174	1,548	1,999	2,564	3,333	4,357	5,810	7,572	30.5%
平均ローン金額	21	21	25	26	29	32	38	43	11.1%
実効金利		22.9%	26.7%	24.3%	22.8%	22.6%	22.5%	22.5%	
預金(百万円)	296	454	926	1,154	1,500	1,961	2,614	3,408	29.8%
預金/ローン残高	0.25	0.29	0.46	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	-0.6%
実効金利		2.6%	2.1%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	
MFIの銀行預金残高(百万円)	103	75	412	239	311	404	1,154	4,006	57.6%
残高/総現金	1.00	0.98	0.98	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	-0.7%
実効金利		3.7%	10.6%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	
外部借入(百万円)	520,724	652,079	663,499	477,408	464,633	250,240	0	0	-100.0%
ミニマムキャッシュ				62,040	80,665	105,451	140,601	183,253	
実効金利		8.5%	9.7%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	
返済率(%)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	0.0%
強制積立控除*	19.0%	44.2%	31.3%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	5.0%

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
損益計算書	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	CAGR
金利収入	234,963	296,974	497,624	554,082	673,528	868,910	1,146,290	1,505,759	24.8%
人件費	75,259	112,398	196,901	205,910	276,863	358,554	400,481	494,582	20.2%
総務費用	35,669	66,687	86,524	128,096	144,160	161,992	181,779	203,724	18.7%
預金(顧客)金利	7,248	9,310	15,316	37,437	47,765	62,295	82,356	108,397	47.9%
その他営業費用	8,695	3,759	28,523	4,132	4,698	5,264	5,830	6,396	-25.8%
営業費用	126,870	192,154	327,263	375,576	473,486	588,106	670,447	813,100	20.0%
営業利益	108,093	104,821	170,361	178,507	200,042	280,804	475,843	692,658	32.4%
マージン率	46.0%	35.3%	34.2%	32.2%	29.7%	32.3%	41.5%	46.0%	
金利収入(銀行預金)	2,167	3,348	8,885	16,462	9,544	12,431	16,178	46,144	39.0%
その他収入	3,305	4,503	26,166	4,132	4,132	4,132	4,132	4,132	-30.9%
営業外収入	5,472	7,851	35,052	20,594	13,677	16,563	20,310	50,277	7.5%
金利(外部借入)	32,490	47,088	67,743	62,750	51,812	39,318	13,763	0	-100.0%
その他費用	5,982	2,509	985	4,132	4,132	4,132	4,132	4,132	33.2%
貸倒引当金繰入額	3,135	-486	1,519	2,281	2,948	3,845	5,084	6,691	34.5%
営業外費用	41,607	49,111	70,247	69,163	58,893	47,296	22,979	10,823	-31.2%
ベトナム会計基準上の純利益	71,959	63,561	135,166	129,937	154,826	250,072	473,175	732,112	40.2%
マージン率	31%	21%	27%	23%	23%	29%	41%	49%	
強制積立控除*	13,654	28,099	42,281	51,975	61,930	100,029	189,270	292,845	47.3%
国際会計基準上の純利益	58,305	35,462	92,885	77,962	92,896	150,043	283,905	439,267	36.4%
マージン率	25%	12%	19%	14%	14%	17%	25%	29%	
税金	1,502	15,890	0	12,994	15,483	25,007	47,317	73,211	N/A
純利益	56,803	19,572	92,885	64,969	77,413	125,036	236,587	366,056	31.6%
マージン率	24%	7%	19%	12%	11%	14%	21%	24%	

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
キャッシュ増減計算									
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
純利益				64,969	77,413	125,036	236,587	366,056	
貸倒引当金の足し戻し				2,281	2,948	3,845	5,084	6,691	
運転資本の増減				94,791	47,138	52,742	31,868	60,531	
資本的支出(減価償却含む)				-5,563	-3,959	-9,108	-13,917	-17,807	
ローン残高の増減(スタッフローン含)				-568,212	-770,536	-1,025,148	-1,453,236	-1,763,246	
預金残高の増減				227,428	346,332	460,887	653,618	793,122	
外部借入の増減				-186,091	-12,776	-214,392	-250,240	0	
リザーブの増減				203,269	389,406	704,748	1,578,821	3,557,628	
増資・減資				0	0	0	0	0	
キャッシュ増減				-167,128	75,967	98,609	788,584	3,002,975	
貸借対照表									
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	CAGR
	12	12	12	12	12	12	12	12	
資産の部									
キャッシュ	103,627	76,501	418,294	251,167	327,134	425,743	1,214,327	4,217,302	58.7%
(うち銀行預金)	103,434	74,649	411,542	238,609	310,777	404,456	1,153,611	4,006,437	57.6%
売掛金その他	13,198	8,062	18,895	21,375	25,983	33,521	44,221	58,089	25.2%
スタッフローン	6,236	2,847	1,780	5,099	6,008	6,964	7,716	8,468	36.6%
ローン残高	1,173,927	1,547,578	1,998,752	2,563,644	3,333,271	4,357,464	5,809,948	7,572,442	30.5%
貸倒引当金	-8,959	-7,456	-9,863	-12,144	-15,093	-18,938	-24,022	-30,713	25.5%
棚卸資産その他	1,869	2,797	718	2,973	3,613	4,661	6,150	8,078	62.3%
流動資産	1,289,898	1,630,329	2,428,577	2,832,114	3,680,917	4,809,415	7,058,340	11,833,666	37.3%
固定資産(減価償却費除く)	21,148	29,514	36,975	47,422	57,645	74,367	98,108	128,873	28.4%
累計減価償却費	-4,673	-6,694	-11,853	-16,737	-23,001	-30,615	-40,438	-53,396	35.1%
固定資産	16,475	22,821	25,122	30,685	34,645	43,753	57,670	75,477	24.6%
総資産	1,306,373	1,653,150	2,453,699	2,862,799	3,715,562	4,853,168	7,116,010	11,909,143	37.2%
負債の部									
預金	296,016	454,467	926,212	1,153,640	1,499,972	1,960,859	2,614,477	3,407,599	29.8%
外部借入	520,724	652,079	663,499	477,408	464,633	250,240	0	0	-100.0%
買掛金その他	81,527	156,554	101,426	200,952	253,339	314,667	358,724	435,051	33.8%
負債	898,267	1,263,100	1,691,138	1,832,001	2,217,944	2,525,766	2,973,200	3,842,650	17.8%
寄付、株主資本	328,769	291,464	326,162	326,162	326,162	326,162	326,162	326,162	0.0%
増資・減資(当年)				0	0	0	0	0	#VALUE!
リザーブ	79,337	98,586	436,399	639,668	1,029,074	1,733,822	3,312,642	6,870,270	73.5%
固定資産購入リザーブ	14,468	19,902	23,295	29,676	34,256	41,540	49,147	58,869	20.4%
ボーナス及び社会保険	9,234	9,326	42,283	90,842	268,008	674,747	1,838,947	4,817,035	157.8%
その他リザーブ	55,635	69,357	370,821	519,150	726,810	1,017,534	1,424,547	1,994,366	40.0%
累計内部留保	0	0	0	64,969	142,382	267,418	504,005	870,061	N/A
前年度までの内部留保	0	0	0	0	64,969	142,382	267,418	504,005	N/A
当年内部留保	0	0	0	64,969	77,413	125,036	236,587	366,056	N/A
資本	408,107	390,049	762,561	1,030,799	1,497,618	2,327,402	4,142,810	8,066,493	60.3%
総負債	1,306,373	1,653,150	2,453,699	2,862,799	3,715,562	4,853,168	7,116,010	11,909,143	37.2%
バランスチェック	0	0	0	0	0	0	0	0	

*ベトナムの会計基準上、MFIは強制的に数種のリザーブ(社会保険、ボーナス、開発)を積んでいます。これらは、国際会計基準上は費用項目であるため、ベトナム会計基準上の純利益にさらに控除しています。また、この国際会計基準上の純利益のみを内部留保に参入しています。

LIP ケース 1

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位:千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
KPI									
FX rate :VND / USD	18,932	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	0.0%
FX rate :VND / JPY	240	271	242	242	242	242	242	242	0.0%
支店数	46	56	63	73	83	93	103	113	12.4%
成長率		22%	13%	16%	14%	12%	11%	10%	
ローンオフィサー数/支店	3.5	4.1	3.8	4.1	4.1	4.1	4.2	4.4	
ローンオフィサー数	160	227	241	299	339	384	435	493	15.4%
スタッフ総数/ローンオフィサー数	1.64	1.49	1.50	1.47	1.46	1.44	1.44	1.44	
スタッフ数	263	339	362	441	493	552	626	710	14.4%
スタッフ一人当たりコスト		373	562	539	592	652	717	789	
顧客数	55,146	73,246	79,484	96,938	111,478	128,200	147,430	169,545	16.4%
顧客数/ローンオフィサー数	345	323	330	324	329	334	339	344	
ローン残高(百万円)	1,174	1,548	1,999	2,564	3,271	4,159	5,535	7,229	29.3%
平均ローン金額	21	21	25	26	29	32	38	43	11.1%
実効金利		22.9%	26.7%	24.3%	22.0%	21.0%	20.0%	20.0%	
預金(百万円)	296	454	926	1,154	1,472	1,871	2,491	3,253	28.6%
預金/ローン残高	0.25	0.29	0.46	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	-0.6%
実効金利		2.6%	2.1%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	
MFIの銀行預金残高(百万円)	103	75	412	238	305	387	1,210	3,996	57.6%
残高/総現金	1.00	0.98	0.98	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	-0.7%
実効金利		3.7%	10.6%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	
外部借入(百万円)	520,724	652,079	663,499	477,381	432,957	157,901	0	0	-100.0%
ミニマムキャッシュ				62,040	79,150	100,637	133,936	174,940	
実効金利		8.5%	9.7%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	
返済率(%)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	0.0%
強制積立控除*	19.0%	44.2%	31.3%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	5.0%

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
損益計算書	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	CAGR
金利収入	234,963	296,974	497,624	554,082	641,772	780,067	969,309	1,276,343	20.7%
人件費	75,259	112,398	196,901	216,206	276,722	340,738	422,401	526,707	21.7%
総務費用	35,669	66,687	86,524	112,397	128,926	145,455	161,983	178,512	15.6%
預金(顧客)金利	7,248	9,310	15,316	37,437	47,258	60,177	78,514	103,384	46.5%
その他営業費用	8,695	3,759	28,523	4,132	4,698	5,264	5,830	6,396	-25.8%
営業費用	126,870	192,154	327,263	370,172	457,604	551,633	668,729	815,000	20.0%
営業利益	108,093	104,821	170,361	183,911	184,169	228,434	300,580	461,344	22.0%
マージン率	46.0%	35.3%	34.2%	33.2%	28.7%	29.3%	31.0%	36.1%	
金利収入(銀行預金)	2,167	3,348	8,885	16,462	9,536	12,215	15,492	48,413	40.4%
その他収入	3,305	4,503	26,166	4,132	4,132	4,132	4,132	4,132	-30.9%
営業外収入	5,472	7,851	35,052	20,594	13,668	16,347	19,624	52,546	8.4%
金利(外部借入)	32,490	47,088	67,743	62,748	50,069	32,497	8,685	0	-100.0%
その他費用	5,982	2,509	985	4,132	4,132	4,132	4,132	4,132	33.2%
貸倒引当金繰入額	3,135	-486	1,519	2,281	2,917	3,715	4,847	6,382	33.2%
営業外費用	41,607	49,111	70,247	69,162	57,118	40,344	17,663	10,514	-31.6%
ベトナム会計基準上の純利益	71,959	63,561	135,166	135,343	140,719	204,437	302,540	503,375	30.1%
マージン率	31%	21%	27%	24%	22%	26%	31%	39%	
強制積立控除*	13,654	28,099	42,281	54,137	56,288	81,775	121,016	201,350	36.6%
国際会計基準上の純利益	58,305	35,462	92,885	81,206	84,432	122,662	181,524	302,025	26.6%
マージン率	25%	12%	19%	15%	13%	16%	19%	24%	
税金	1,502	15,890	0	13,534	14,072	20,444	30,254	50,338	N/A
純利益	56,803	19,572	92,885	67,671	70,360	102,218	151,270	251,688	22.1%
マージン率	24%	7%	19%	12%	11%	13%	16%	20%	

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
キャッシュ増減計算									
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
純利益				67,671	70,360	102,218	151,270	251,688	
貸倒引当金の足し戻し				2,281	2,917	3,715	4,847	6,382	
運転資本の増減				91,900	42,927	44,234	54,337	64,770	
資本的支出(減価償却含む)				-5,563	-1,241	-4,581	-7,378	-15,320	
ローン残高の増減(スタッフローン含)				-568,212	-707,612	-888,595	-1,376,819	-1,695,347	
預金残高の増減				227,428	318,152	399,560	619,185	762,471	
外部借入の増減				-186,118	-44,423	-275,056	-157,901	0	
リザーブの増減				203,269	389,406	704,748	1,578,821	3,557,628	
増資・減資				0	0	0	0	0	
キャッシュ増減				-167,344	70,485	86,243	866,360	2,932,271	
貸借対照表									
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	CAGR
	12	12	12	12	12	12	12	12	
資産の部									
キャッシュ	103,627	76,501	418,294	250,951	321,436	407,679	1,274,039	4,206,310	58.7%
(うち銀行預金)	103,434	74,649	411,542	238,403	305,364	387,295	1,210,337	3,995,994	57.6%
売掛金その他	13,198	8,062	18,895	21,375	24,758	30,093	37,394	49,238	21.1%
スタッフローン	6,236	2,847	1,780	5,099	5,706	6,389	7,242	8,210	35.8%
ローン残高	1,173,927	1,547,578	1,998,752	2,563,644	3,270,649	4,158,562	5,534,528	7,228,907	29.3%
貸倒引当金	-8,959	-7,456	-9,863	-12,144	-15,061	-18,776	-23,622	-30,004	24.9%
棚卸資産その他	1,869	2,797	718	2,973	3,443	4,185	5,200	6,847	57.0%
流動資産	1,289,898	1,630,329	2,428,577	2,831,898	3,610,932	4,588,132	6,834,781	11,469,509	36.4%
固定資産(減価償却費除く)	21,148	29,514	36,975	47,422	54,927	66,764	82,960	109,238	24.2%
累計減価償却費	-4,673	-6,694	-11,853	-16,737	-23,001	-30,256	-39,074	-50,032	33.4%
固定資産	16,475	22,821	25,122	30,685	31,927	36,508	43,886	59,206	18.7%
総資産	1,306,373	1,653,150	2,453,699	2,862,583	3,642,858	4,624,640	6,878,667	11,528,715	36.3%
負債の部									
預金	296,016	454,467	926,212	1,153,640	1,471,792	1,871,353	2,490,537	3,253,008	28.6%
外部借入	520,724	652,079	663,499	477,381	432,957	157,901	0	0	-100.0%
買掛金その他	81,527	156,554	101,426	198,061	244,842	295,152	357,805	436,067	33.9%
負債	898,267	1,263,100	1,691,138	1,829,082	2,149,591	2,324,406	2,848,342	3,689,075	16.9%
寄付、株主資本	328,769	291,464	326,162	326,162	326,162	326,162	326,162	326,162	0.0%
増資・減資(当年)				0	0	0	0	0	#VALUE!
リザーブ	79,337	98,586	436,399	639,668	1,029,074	1,733,822	3,312,642	6,870,270	73.5%
固定資産購入リザーブ	14,468	19,902	23,295	29,676	34,256	41,540	49,147	58,869	20.4%
ボーナス及び社会保険	9,234	9,326	42,283	90,842	268,008	674,747	1,838,947	4,817,035	157.8%
その他リザーブ	55,635	69,357	370,821	519,150	726,810	1,017,534	1,424,547	1,994,366	40.0%
累計内部留保	0	0	0	67,671	138,031	240,249	391,519	643,207	N/A
前年度までの内部留保	0	0	0	0	67,671	138,031	240,249	391,519	N/A
当年内部留保	0	0	0	67,671	70,360	102,218	151,270	251,688	N/A
資本	408,107	390,049	762,561	1,033,501	1,493,267	2,300,233	4,030,324	7,839,639	59.4%
総負債	1,306,373	1,653,150	2,453,699	2,862,583	3,642,858	4,624,640	6,878,667	11,528,715	36.3%
バランスチェック	0	0	0	0	0	0	0	0	

*ベトナムの会計基準上、MFIは強制的に数種のリザーブ(社会保険、ボーナス、開発)を積んでいます。これらは、国際会計基準上は費用項目であるため、ベトナム会計基準上の純利益にさらに控除しています。また、この国際会計基準上の純利益のみを内部留保に参入しています。

LIP ケース 2

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
KPI									
FX rate : VND / USD	18,932	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	0.0%
FX rate : VND / JPY	240	271	242	242	242	242	242	242	0.0%
支店数	46	56	63	73	83	93	103	113	12.4%
成長率		22%	13%	16%	14%	12%	11%	10%	
ローンオフィサー数/支店	3.5	4.1	3.8	4.1	3.9	3.9	3.8	3.8	
ローンオフィサー数	160	227	241	297	327	359	395	435	12.5%
スタッフ総数/ローンオフィサー数	1.64	1.49	1.50	1.47	1.46	1.44	1.44	1.44	
スタッフ数	263	339	362	438	476	517	569	626	11.6%
スタッフ一人当たりコスト		373	562	564	621	683	751	826	
顧客数	55,146	73,246	79,484	92,091	101,300	111,430	122,573	134,830	11.1%
顧客数/ローンオフィサー数	345	323	330	310	310	310	310	310	
ローン残高(百万円)	1,174	1,548	1,999	2,435	2,947	3,566	4,315	5,221	21.2%
平均ローン金額	21	21	25	26	29	32	35	39	9.0%
実効金利		22.9%	26.7%	22.0%	21.0%	20.0%	19.0%	18.0%	
預金(百万円)	296	454	926	1,096	1,326	1,605	1,942	2,349	20.5%
預金/ローン残高	0.25	0.29	0.46	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	-0.6%
実効金利		2.6%	2.1%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	
MFIの銀行預金残高(百万円)	103	75	412	230	278	420	1,622	4,650	62.4%
残高/総現金	1.00	0.98	0.98	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	-0.7%
実効金利		3.7%	10.6%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	
外部借入(百万円)	520,724	652,079	663,499	419,714	295,980	0	0	0	-100.0%
ミニマムキャッシュ				58,938	71,315	86,291	104,413	126,339	
実効金利		8.5%	9.7%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	
返済率(%)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	0.0%
強制積立控除*	19.0%	44.2%	31.3%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	5.0%

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位:千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
損益計算書	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	CAGR
金利収入	234,963	296,974	497,624	487,764	565,149	651,267	748,631	858,168	11.5%
人件費	75,259	112,398	196,901	225,573	283,374	338,868	407,844	493,671	20.2%
総務費用	35,669	66,687	86,524	134,501	151,368	170,092	190,868	213,911	19.8%
預金(顧客)金利	7,248	9,310	15,316	36,399	43,597	52,753	63,831	77,235	38.2%
その他営業費用	8,695	3,759	28,523	4,132	4,698	5,264	5,830	6,396	-25.8%
営業費用	126,870	192,154	327,263	400,605	483,037	566,977	668,373	791,213	19.3%
営業利益	108,093	104,821	170,361	87,158	82,112	84,290	80,258	66,955	-17.0%
マージン率	46.0%	35.3%	34.2%	17.9%	14.5%	12.9%	10.7%	7.8%	
金利収入(銀行預金)	2,167	3,348	8,885	16,462	9,191	11,123	16,795	64,899	48.8%
その他収入	3,305	4,503	26,166	4,132	4,132	4,132	4,132	4,132	-30.9%
営業外収入	5,472	7,851	35,052	20,594	13,323	15,256	20,928	69,031	14.5%
金利(外部借入)	32,490	47,088	67,743	59,577	39,363	16,279	0	0	-100.0%
その他費用	5,982	2,509	985	4,132	4,132	4,132	4,132	4,132	33.2%
貸倒引当金繰入額	3,135	-486	1,519	2,217	2,691	3,256	3,940	4,768	25.7%
営業外費用	41,607	49,111	70,247	65,926	46,187	23,667	8,072	8,900	-33.8%
ベトナム会計基準上の純利益	71,959	63,561	135,166	41,826	49,249	75,878	93,114	127,086	-1.2%
マージン率	31%	21%	27%	9%	9%	12%	12%	15%	
強制積立控除*	13,654	28,099	42,281	16,730	19,700	30,351	37,245	50,834	3.8%
国際会計基準上の純利益	58,305	35,462	92,885	25,096	29,549	45,527	55,868	76,251	-3.9%
マージン率	25%	12%	19%	5%	5%	7%	7%	9%	
税金	1,502	15,890	0	4,183	4,925	7,588	9,311	12,709	N/A
純利益	56,803	19,572	92,885	20,913	24,624	37,939	46,557	63,543	-7.3%
マージン率	24%	7%	19%	4%	4%	6%	6%	7%	

LIP Microfinance for MDGs

Vietnam Women's Union - TYM Fund

単位: 千円

	Actual	Actual	Actual	Projection	Projection	Projection	Projection	Projection	
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
月	12	12	12	12	12	12	12	12	CAGR
キャッシュ増減計算									
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
純利益				20,913	24,624	37,939	46,557	63,543	
貸倒引当金の足し戻し				2,217	2,691	3,256	3,940	4,768	
運転資本の増減				111,098	40,705	41,128	49,974	60,913	
資本的支出(減価償却含む)				113	-1,109	-982	-971	-912	
ローン残高の増減(スタッフローン含)				-439,991	-511,887	-619,331	-749,410	-906,720	
預金残高の増減				169,746	230,151	278,483	336,964	407,727	
外部借入の増減				-243,785	-123,734	-295,980	0	0	
リザーブの増減				203,269	389,406	704,748	1,578,821	3,557,628	
増資・減資				0	0	0	0	0	
キャッシュ増減				-176,421	50,848	149,261	1,265,874	3,186,946	
貸借対照表									
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	CAGR
	12	12	12	12	12	12	12	12	
資産の部									
キャッシュ	103,627	76,501	418,294	241,873	292,721	441,982	1,707,857	4,894,802	63.6%
(うち銀行預金)	103,434	74,649	411,542	229,780	278,085	419,883	1,622,464	4,650,062	62.4%
売掛金その他	13,198	8,062	18,895	18,817	21,802	25,124	28,881	33,106	11.9%
スタッフローン	6,236	2,847	1,780	5,061	5,501	5,981	6,582	7,243	32.4%
ローン残高	1,173,927	1,547,578	1,998,752	2,435,462	2,946,909	3,565,760	4,314,570	5,220,629	21.2%
貸倒引当金	-8,959	-7,456	-9,863	-12,080	-14,771	-18,028	-21,968	-26,735	22.1%
棚卸資産その他	1,869	2,797	718	2,617	3,032	3,494	4,016	4,604	45.0%
流動資産	1,289,898	1,630,329	2,428,577	2,691,750	3,255,194	4,024,315	6,039,938	10,133,649	33.1%
固定資産(減価償却費除く)	21,148	29,514	36,975	41,746	48,369	55,740	64,073	73,448	14.7%
累計減価償却費	-4,673	-6,694	-11,853	-16,737	-22,251	-28,640	-36,002	-44,465	30.3%
固定資産	16,475	22,821	25,122	25,009	26,118	27,100	28,071	28,983	2.9%
総資産	1,306,373	1,653,150	2,453,699	2,716,759	3,281,313	4,051,415	6,068,009	10,162,632	32.9%
負債の部									
預金	296,016	454,467	926,212	1,095,958	1,326,109	1,604,592	1,941,556	2,349,283	20.5%
外部借入	520,724	652,079	663,499	419,714	295,980	0	0	0	-100.0%
買掛金その他	81,527	156,554	101,426	214,345	258,450	303,362	357,614	423,340	33.1%
負債	898,267	1,263,100	1,691,138	1,730,016	1,880,539	1,907,954	2,299,171	2,772,623	10.4%
寄付、株主資本	328,769	291,464	326,162	326,162	326,162	326,162	326,162	326,162	0.0%
増資・減資(当年)				0	0	0	0	0	#VALUE!
リザーブ	79,337	98,586	436,399	639,668	1,029,074	1,733,822	3,312,642	6,870,270	73.5%
固定資産購入リザーブ	14,468	19,902	23,295	29,676	34,256	41,540	49,147	58,869	20.4%
ボーナス及び社会保険	9,234	9,326	42,283	90,842	268,008	674,747	1,838,947	4,817,035	157.8%
その他リザーブ	55,635	69,357	370,821	519,150	726,810	1,017,534	1,424,547	1,994,366	40.0%
累計内部留保	0	0	0	20,913	45,537	83,476	130,033	193,576	N/A
前年度までの内部留保	0	0	0	0	20,913	45,537	83,476	130,033	N/A
当年内部留保	0	0	0	20,913	24,624	37,939	46,557	63,543	N/A
資本	408,107	390,049	762,561	986,743	1,400,774	2,143,460	3,768,838	7,390,008	57.5%
総負債	1,306,373	1,653,150	2,453,699	2,716,759	3,281,313	4,051,415	6,068,009	10,162,632	32.9%
バランスチェック	0	0	0	0	0	0	0	0	

*ベトナムの会計基準上、MFIは強制的に数種のリザーブ(社会保険、ボーナス、開発)を積んでいます。これらは、国際会計基準上は費用項目であるため、ベトナム会計基準上の純利益にさらに控除しています。また、この国際会計基準上の純利益のみを内部留保に参入しています。

Appendix 3 -東南アジア各国のマイクロファイナンス浸透率

国	項目	年	総人口	労働人口率(%)	貧困率(%)	貧困労働人口	顧客数	浸透率
ベトナム	LoanPen2	2008	85,122,300	68.78	43.36	25,386,055	7,028,691	27.7%
ベトナム	LoanPenNat	2010	86,932,500	69.97	20.70	12,591,022	8,459,810	67.2%
カンボジア	LoanPen2	2009	14,144,225	62.67	49.54	4,390,975	1,123,180	25.6%
カンボジア	LoanPenNat	2009	14,144,225	62.67	23.90	2,118,375	1,123,180	53.0%
バングラデッシュ	LoanPen2	2010	151,125,475	63.73	76.54	73,713,423	22,280,694	30.2%
バングラデッシュ	LoanPenNat	2010	151,125,475	63.73	31.51	30,346,354	22,280,694	73.4%
スリランカ	LoanPen2	2010	20,653,000	67.11	23.85	3,305,707	1,344,759	40.7%
スリランカ	LoanPenNat	2010	20,653,000	67.11	8.90	1,233,576	1,344,759	109.0%
フィリピン	LoanPen2	2009	91,886,400	60.69	41.53	23,157,872	2,846,782	12.3%
フィリピン	LoanPenNat	2009	91,886,400	60.69	26.50	14,776,875	2,846,782	19.3%
ネパール	LoanPen2	2010	26,846,016	57.97	57.25	8,909,609	773,288	8.7%
ネパール	LoanPenNat	2010	26,846,016	57.97	25.20	3,921,784	773,288	19.7%
インド	LoanPen2	2010	1,205,624,648	64.76	68.76	536,850,936	32,590,942	6.1%
インド	LoanPenNat	2010	1,205,624,648	64.76	29.80	232,666,636	32,590,942	14.0%
パキスタン	LoanPen2	2008	167,008,083	59.25	60.19	59,561,312	1,595,210	2.7%
パキスタン	LoanPenNat	2008	167,008,083	58.26	22.30	21,699,217	1,595,210	7.4%

Source: The World Bank, World Development Indicators, MIX Market

当レポート作成にあたって参照した主な資料・情報の URL

- World Economic Outlook
<http://www.imf.org/external/ns/cs.aspx?id=28>
- World Population Prospects: The 2012 Revision
<http://esa.un.org/wpp/>
- General Statistics Office of Vietnam
http://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=491
- MIX Market
<http://www.mixmarket.org/>
- World Development Indicators
<http://data.worldbank.org/data-catalog/world-development-indicators>
- The State Bank of Vietnam（ベトナム中央銀行）
http://www.sbv.gov.vn/portal/faces/en/enm/enpages_home?_adf.ctrl-state=18mnv2t4b8_4&_afLoop=944932869530500